

診療情報および検体（試料）を利用した臨床研究について

虎の門病院内内分泌代謝科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録や検体（試料）をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分や家族の診療情報・検体（試料）を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

当院における先行研究『糖尿病および膵腫瘍患者膵におけるエンテロウイルス RNA 配列および腸内細菌の遺伝子配列の同定』に参加し、1982年4月1日から2022年8月31日の間に虎の門病院剖検もしくは手術をお受けになった方。

【研究課題名】

1型糖尿病における膵β細胞の脱分化についての検討

【研究の目的・背景】

《目的》

1型糖尿病患者の膵組織を用いて、1型糖尿病膵における残存内分泌細胞の細胞特性や分子メカニズムについてさらに詳細に解明することで、新たな根本治療の経路を発見する研究になる可能性があると考えています。

《研究に至る背景》

1型糖尿病は一度発症すると、生涯に渡りインスリンの投与が必要となる疾患です。インスリンの開発や様々な技術の進歩により患者さんの負担は年々軽減していますが、依然として患者さんには大きな負担があります。

【研究のために診療情報・検体（試料）を解析研究する期間】

2022年12月12日 ～ 2027年3月31日

【単独／共同研究の別】

多施設共同研究（虎の門病院と冲中記念成人病研究所）

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。対応表は虎の門病院内内分泌代謝科森保道部長が保管します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 冲中記念成人病研究所所長 小林哲郎のもと研究終了

後永年保管いたします。

【利用する診療情報・検体（試料）】

診療情報：検査データ

検体（試料）：病理腓組織

【研究代表者】

冲中記念成人病研究所所長 ・ 小林 哲郎

【虎の門病院における研究責任者】

内分泌代謝科 ・ 森 保道

【利用する者の範囲】

虎の門病院 ・ 内分泌代謝科 ・ 森 保道

虎の門病院 ・ 内分泌代謝科 ・ 内田 貴康

冲中記念成人病研究所 ・ 小林 哲郎

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報・検体（試料）の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報・検体（試料）が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2023年3月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 内分泌代謝科 ・ 内田 貴康

電話 03-3588-1111(代表)